

2025

7

July  
No. 389

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



三島の小・中学生が担い手となった  
「虫送り」(県無形民俗文化財)

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

# 「燃えるごみ減量へ！」

私たちがふだん捨てているごみを取り巻く現状が変化しています。

当町のごみの排出の現状を知っていただき一人一人がごみの減量に取り組めるよう、今月から数回にわたり、ごみの減量化に向けた特集を掲載します。

## 負担金 年間

# 1,900万円



三島町



環境センター

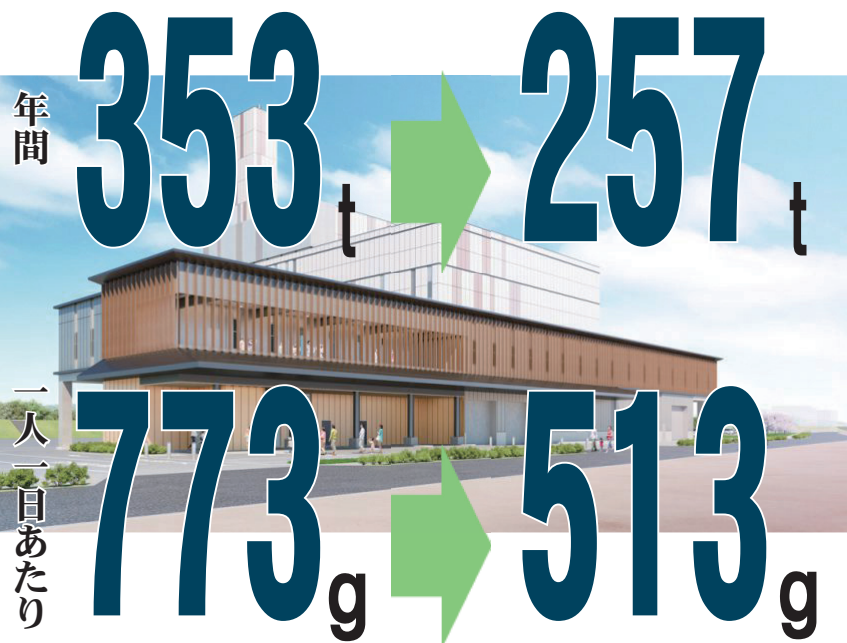
### ごみのゆくえ

町の燃えるごみは会津若松市にある会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターの施設で処理されます。施設を利用している10市町村が負担金を出し合って利用しています。三島町から出る燃えるごみの量は全体量の0.7%ですが、年間で約1,900万円の負担金を支出しています。(その他の施設利用分も含む)

### 焼却施設の新設

令和8年度より燃えるごみ焼却炉が新しくなります。新施設は人口減少やごみ削減を見込んで今よりも処理能力が低くなります。そのため、施設を利用している市町村それぞれが計画を立てごみの減量に取り組んでいます。全体的にまだごみの量が多い状態です。

三島町は令和6年度に年間353tの燃えるごみ出していますが、それを257tまで、一人あたり1日の量にして260gを減量する必要があります。仮に処理量が超過すると、受入制限などにより追加の費用が発生する可能性があります。ごみ減量は急務といえます。そのためには、町民の皆さん一人ひとりの協力が不可欠です。



### 新焼却炉を建設中

令和8年度運用開始



減量を見込んでいるため

低い処理能力



目標未達成のため処理能力を超える危険性

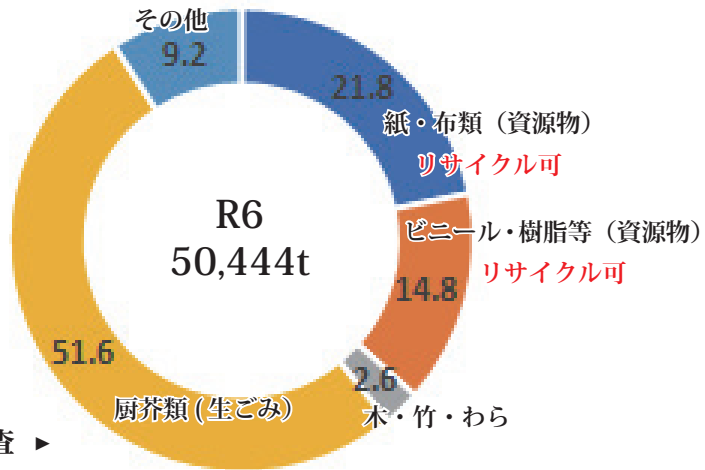
# キーワードは

# 生ごみ

# 紙ごみ

# の減量

●**ごみの構成**  
燃えるごみのうち、「生ごみ」が全体の約5割を占めており、リサイクルできる「紙ごみ」も2割を占めています。これら「生ごみ」と「紙ごみ」の減量に集中的に取り組むことが、目標達成への大きな一歩となります。ご協力をお願いします。



## 令和6年度ごみの組成

### 生ごみの減量

- ・捨てる際には水気をよく切りましょう。  
生ごみの7割は水分ですので、水気を切るだけでも大きな効果があります。
- ・町の補助金・モニター事業を活用しましょう。  
町ではコンポストの購入補助や、生ごみ処理装置「キエーロ」のモニターを募集しています。お電話でお気軽にお問合せください。



### 紙ごみの分別

- ・チラシや紙箱、新聞紙は適切に分別し、燃えるごみで出さないようにしましょう。  
詳しい分別方法は、本特集であらためてお知らせします。また、回収ステーションの整備を進める予定ですので、ご活用をお願いします。

### ◎ リサイクルできる紙類



### 次回予告

次号もごみ減量をさらに深掘り！捨てる際のちょっとしたコツはもちろん、国立環境研究所と協力して、全国の先進的なごみ削減事例をご紹介します。  
また、環境問題とごみの密接な関係についても掘り下げていく予定です。未来のために、私たちに何ができるのか、一緒に考えていきましょう。どうぞお楽しみに！

### 出前講座のお知らせ

町民課ではごみの捨て方、分別の方法、ごみ処理の現状などに関する出前講座を実施いたします。(30分～1時間程度)ご希望の地区、団体の方は以下までご連絡ください。  
【問い合わせ】町民課町民係 TEL 48-5555

# 第39回ふるさと会津工人まつり



▲ 矢澤町長の開会挨拶

6月7日・8日の2日間、生活工芸館前のナラ林広場で第39回ふるさと会津工人まつりが開催されました。今年は、晴天下で暑さを感じながらの開催で、県内外から二日間で1万5千人もの来場者が訪れました。

北は青森、南は熊本、そして国外からは交流事業のある台湾からも合わせて156店が出店し、編み組細工や木工、陶芸、金属加工など、様々なブースが並びました。

午前9時のイベント開始前から多くのお客様が会場内を散策され、ここにしかない作品の数々に目を輝かせながら思い思いに楽しんでいました。



## ▲ 来場者で賑わう工芸館前ナラ林広場

飲食エリアには、地元の方々のほか、奥会津4町村（柳津町、金山町、昭和村、只見町）のお店をはじめ、ふくしま三大鶏でつながりのある川俣町、伊達市、ほか、本町と交流のある会津若松市、いわき市の計9市町村の出店があり、さまざまな飲食を楽しむことができました。

工人まつりのために町内各所に設けた臨時駐車場は、あつという間に埋まり、今年も多くの方々に注目されるイベントとなりました。



## 「てわっさの里まつり」 賑わう宮下地区！



工人まつりと合わせて、宮下地区内では「てわっさの里まつり」が開催されました。工人まつりとは一味違う工芸品や骨董品などが並んだ会場に、多くの方が足を運びました。

宮下温泉「栄光館」にて開催された、「美しい手仕事展」。病院の前の道を通り、長い坂を下って訪れる観光客の方が多くいらっしゃいました。訪れた方は、旅館の内外の展示作品を鑑賞し、大変喜んでいました。

## 盛況の「山と木の市場」

工人まつりと合わせて、山と木の市場実行委員会主催「山と木の市場」が開催されました。樹木の販売や桐製品の販売だけでなく、子どもから大人まで参加しての丸太切り体験も行われ、多くの方が楽しんでいました。



## 「美しい手仕事展」開催！



台湾工芸研究発展センター、雲林科技大学それぞれから町長に記念品の贈呈



出店店舗の看板を作成する子どもたち



「てわっさの里まつり」を訪れた方々



中学生による町のPR



「美しい手仕事展」の様子



多くの方が手に取った編み組細工



台湾コミュニティ工芸ブース体験コーナーの様子

# 星空ヨギ

## ミサカノヨヅラ開催

### 2025



6月28日に美坂高原において「星空ヨギ2025〜ミサカノヨヅラ〜」が開催され、県内外から約500名の方が参加されました。

正午から町内外から美味しい食べ物や特産品が集まる「美坂高原マルシェ」や、手仕事の品々やワークショップが楽しめる「手仕事マルシェKISSE」が開催されました。

そのほか、望遠鏡づくりワークショップやアウトドア体験、キャンプサイト開設など、日中から楽しめるイベントが盛りだくさんでした。

天気も大変良く、降り注ぐ日差しの下で、草原を駆け回る子ども達や、くつろぐキャンパ客の姿も見られました。

午後7時半からはボスケット代表の小林乃里子さんによる「ナイトハイク」や、今回のメインイベントとなる星空ヒーリングナビゲーター、上野沙紀さんによるヨガ体験・目黒麗さんのクリスタルボウル演奏には約100名以上の参加者が集まり、それぞれの参加者は、高原の暮れゆく景色の中、夜のプログラムを楽しんでいました。



## 美坂高原の昼 憩いの時間



▲ お買い物抽選会



▲ 高原の本屋さん



▲ 望遠鏡づくりワークショップ



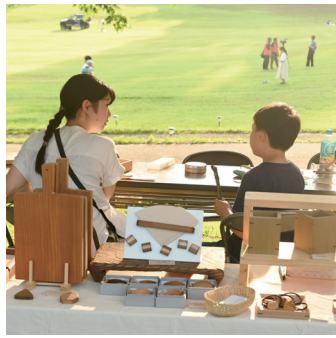
▲ マルシェでランチ



▲ 凧遊び



▲ アウトドア体験コーナー



▲ KISSEワークショップ



▲ 太陽礼拝 昼のヨギ

# 美坂高原の夜 星とヨガとヒーリングミュージック！



▲ ナイトハイク、森の中のハンモック



▲ 星空の下でのヨガ



▲ クリスタルボウル 癒しの演奏

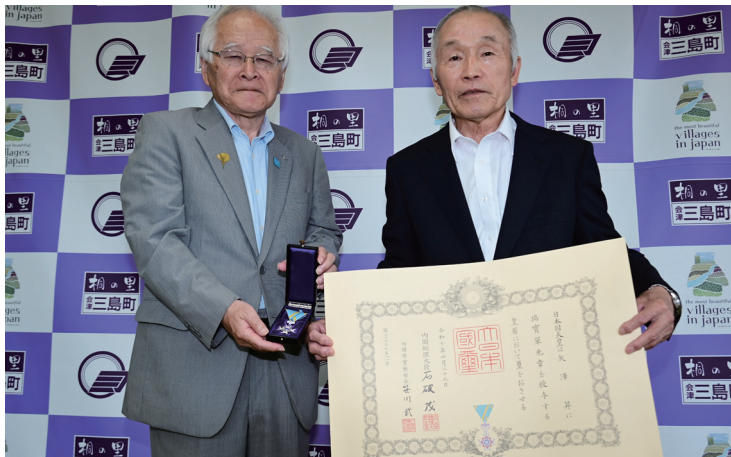
夜には、若干の雲はあったものの、美しい星空を眺めることができ、天体観測愛好家の清水健司さんから星座や星についての解説を聞きながら、美坂の天空に広がる星々の美しさを各々楽しんでおられました。

9月20日(土)には、国立天文台 台首席教授の渡部潤一先生をお招きし、美坂高原で「スターウォッチングツアー」を開催予定ですので、ぜひご来場ください。



▲ 美坂の星空を眺めて・・・

## 矢澤昇氏春の叙勲「瑞宝単光章」授与



▲ 左から矢澤源成町長、矢澤昇氏

矢澤昇氏が令和7年春の叙勲で「瑞宝単光章」を受章され、6月11日に町長から伝達されました。

矢澤昇氏は昭和50年から令和2年に至るまで、国勢調査員として計10回の国勢調査に携わられました。また農林業センサス、労働力調査などの各基幹統計調査に計27回従事され、調査に当たって、調査の内容や方法を十分習熟し正確な調査結果の確保に努められてこられたことが、高く評価されました。

## 五十嵐豊一氏 自衛官募集相談員に委嘱

自衛官募集相談員に五十嵐豊一さんが委嘱されました。5月29日に自衛隊福島地方協力本部の佐藤真会津若松出張所長から五十嵐さんに委嘱状が手渡されました。自衛官募集相談員は、自衛隊志願者に対する情報提供や募集のための支援等を行います。相談員の任期は2年で、五十嵐さんは平成19年度から務めており、9期目となります。

自衛官の募集種目は、任期の定めがない「一般曹候補生」のほか、2年毎の任期制となる「自衛官候補生」や社会人・学生を対象とした「予備自衛官補」など様々な種類がありますので、興味のある方は自衛官募集相談員や自衛隊福島協力本部会津若松出張所までお問い合わせください。



▲ 佐藤真会津若松出張所長から委嘱状を受け取る五十嵐豊一氏

## かすみ草目揃え会 ~ 豪雪被害を乗り越え美しく強いかすみ草をお届け ~

今年もJA会津よつば昭和かすみ草部会を通して、全国の市場へと三島町産かすみ草の出荷が開始されました。6月17日には、川井地区にある集荷場で、「かすみ草目揃え会」が開催され、町内の生産者4名と部会に所属する近隣町村の生産者の皆さんが集まり、JA会津よつばと会津農林事務所金山普及所職員から品質の向上、選別時の注意点など詳しく説明を受けました。

今年2月の豪雪により栽培用のビニールハウスが倒壊するなどの被害を受けた生産者の皆さんは、ハウスを修復し、豪雪を克服した美しい品質の高いかすみ草をお客様の元へお届けするため、今後の栽培に意欲を高めていました。

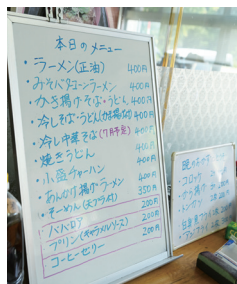


## 「森の校舎カタクリ」 図書館と食堂のご案内

森の校舎カタクリには、3年ほど前から民俗学者の赤坂憲雄先生、奥会津書房、ふくしま本の森、町民など多くの方からの様々な本の寄贈を受けた図書コーナーが、コミュニティスペースに設置されております。構内にある食堂と併せてぜひご利用ください。蔵書については貸出しも行っております。

また、7月13日⑩15時～16時に、赤坂憲雄先生の講演「北のはやり歌 みだれ髪」が開催されます。「歌謡曲で何故北の地が題材によく用いられるのか」を民俗学的な観点から解説いただきます。是非おこしくください。

【講演の主催・問合せ】奥会津書房 ☎52-3580



## 縄文からの時を繋いで ～佐久間建設工業(株)より埋もれ木モニュメントの寄贈～

6月24日⑩、佐久間建設工業(株)代表取締役社長 佐藤岩男様より大谷地区の大谷川の川底から発見された埋もれ木を使用したモニュメントが、三島町役場、三島小学校、三島中学校にそれぞれ寄贈されました。

埋もれていた木は、5500年前のものとして測定され、沼沢火山大噴火の痕跡である貴重な自然の産物で、寄贈されたモニュメントは（掘り起こした木の中で一番古い）樹齢400年を超える<sup>けやき</sup>樺が使われ過去より繋がる時を刻む電波時計、ほか奥会津地域に生育する木々が組み込まれています。

太古から現在、そして未来へと繋がるモニュメント。ご覧いただいた皆さんは何を感じるでしょうか。



▲ 役場正面玄関

▲ 三島小学校玄関ホール

▲ 三島中学校玄関ホール

## 美坂の星空を求めて ～ナイトトレイン星空観望ツアー～

6月24日⑩、只見線を活用した東日本旅客鉄道(株)主催のナイトトレインツアーで、参加者約20名が、美坂高原を訪れ、初夏の星空を眺めました。

夕暮れから暮夜への移り変わりを体感しながら夕食を味わい、講師の先生方から、星にまつわる様々な話を聞き、夜空の星について教わりました。

星空に見とれた参加者からは感動の声があがっていました。

無数の星の輝く、静かな美坂の夜空でした。



## 全会津中体連総合大会（卓球・なぎなた） 出場結果!!

先月は全会津中学校体育大会陸上競技大会に出場しましたが、今月は全会津中学校体育大会（卓球・なぎなた）の競技に出場しました。

今回の大会は、6月3日㊦、10日㊦、11日㊦の3日間にわたって開催されました。子どもたちは、4月から日ごろの部活動の時間だけでなく、週末も各種大会や強化練習などに取り組んできました。また、週末の卓球の部活動においては、本校では外部講師も招いて指導をいただき、サーブやレシーブの技術を高めてきました。なお、今回の競技結果は以下のとおりです。

### <男子卓球部>

#### ○団体戦【予選リーグ】

対 大戸中 3-2 勝利

対 磐梯中 2-3 借敗

対 河東学園後期0-3 借敗 1勝2敗で2位 決勝トーナメント進出

#### ○団体戦【決勝トーナメント】

対 南会津中 1-3 借敗 ベスト16で敗退

#### ○個人戦【予選リーグ】

石岡健志郎（3年）1勝2敗 二瓶 伸悟（3年）2勝1敗

鈴木 瑠希（2年）2勝1敗 二瓶 健（2年）2勝1敗

布川 琉生（1年）2勝1敗

### <女子卓球部>

#### ○個人戦【予選リーグ】

布川 芽依（3年）3勝0敗 決勝トーナメント進出

二瓶 悠夏（2年）3勝0敗 決勝トーナメント進出

熊谷 祐衣（2年）1勝2敗

五十嵐悠月（1年）1勝1敗

#### ○個人戦【決勝トーナメント】

布川 芽依（3年）対 高田中 借敗 ベスト32で敗退

二瓶 悠夏（2年）対 荒海中 借敗 ベスト32で敗退

### <なぎなた部>

#### ○個人試合【トーナメント】

浅見 凰花（3年）

1回戦 対 若四中 勝利

2回戦 対 ザペリオ 借敗 ベスト16で敗退



## 【宮下】 みんなで楽しく「田植え」(5月28日)

小島 純さん

三島小学校3～6年生 29名の児童の皆さんが宮下ふれあい公園「びおたん」にある「三島小学校の田んぼ」で田植えを行いました。宮下地区と三島小学校公民館が協力「びおたん交流事業」として毎年行われています。

びおたんクラブ役員と町づくり応援隊、宮下地区委員の皆さんと、今年は農業委員会の皆さんの協力もいただきました。農業委員会長の二瓶辰雄さんから田植えの説明を受け、作業が開始されました。児童たちは、田んぼのぬかみ足を取られながらも汗を流し、一生懸命苗を植えていきました。

閉会式には、「なかなか難しかったけど、周りの人を見ながら植える事が出来た。」「ぬかみ足で大変だったけど、楽しく田植えが出来た」との感想が子どもたちから発表されました。

6月18日には、5,6年生13名が同田んぼにおいて、地区の皆さんから「ころばし」の使い方を教わりながら、除草、草刈りを行いました。



## 【宮下】 大登ロータリーとアーチ三兄弟視点場の草刈り作業 (5月29日)

小島 純さん



宮下地区では、「てわっさの里まつり」を目前に控えた5月29日(土)に、訪れる方々に気持ち良く町に入ってもらうため、町への入口である大登ロータリーの草刈りに、早朝から汗を流しました。

その後、アーチ三兄弟視点場に移動し、訪れた人達に気持ち良く撮影してもらうために区長・地区委員は早朝から汗を流しながら作業に励みました。

## 【滝谷】 滝谷婦人会防火訓練 (6月6日)

目黒 民一さん

6月6日夜7時より、消防団滝谷班と滝谷婦人会は、消火栓の使用方法について訓練を行いました。

この日は、滝谷班の定例招集日で団員による通常点検等を見学し、その後、実際に消火栓を使ってホースの脱着や放水等に真剣に取り組みました。

会員の皆さんは、有事の際の備えを再確認するとともに、火災などを各家庭から絶対に出すことのないように誓いを新たにしました。



## 【西方】雨にも負けず「虫送り」（6月14日）

本名 与四郎さん

6月14日④に西方地区伝統である「虫送り」が行われました。

当日は日中より雨模様にもかかわらず、午後3時頃より中学生や保護者、地区役員の方や昔から虫送りといった特色ある地域の伝統を守り続けてこられている、小松順太郎さん、五ノ井隆一さんや飯塚英人さんなどの協力の下、竹を切って運ぶグループと、山車の周りに使う桑の木などの雑木を切って持ち寄るグループに分かれて活動を開始しました。夕方近くまで時間を費やして、子どもなどに持たせる「提灯」や道案内を行うための「<sup>たいまつ</sup>松明」、山車の飾り付けなどを完成させました。空が夕暮れに染まる午後6時30分から西方の郷倉をスタートして西方のメインストリートを練り歩きました。

西方地区で、ただ一人となってしまった中学生の二瓶伸悟君を含む三島中生を中心に近郷近在の子どもたちやお孫さんも参加しました。三島小・中学生の郷土学習（総合的な学習の時間）の中で仕上げた手作りの提灯を手を持って、大きなかけ声が小雨交じりの天空に響き渡りました。

『虫送り』 後世へつなげ 地域の輪 「来年は 子ども不在で さあどうする」



## 【宮下】宮下神社の清掃（6月14日）

小島 純さん

連日暑い日が続きます。

6月14日④早朝6時から三島神社境内と宮昌寺本堂・観音堂・地藏堂周辺の清掃作業が行われました。

神社総代、寺護会、地区住民が参加し、各々持参した刈り払い機、ホーキ、熊手等で清掃作業に汗を流しました。

作業も1時間程度で終了し、神社、寺も明るくなり、狛犬、お地藏も微笑んでおられるように見えました。



## 【西方】「元気に楽しいひとときを」を 宝探しウォーキング（6月21日） 本名 与四郎さん

西方健康守る会は、6月21日④の午前10時よりふるさとセンターを出発し、徒歩で、地区内にある宝を探し、集める「宝探しウォーキング」という新しい地区民が楽しめる形で実施されました。スタートする前に、全員でラジオ体操と簡単なストレッチを行いました。

参加されたのは西方の住民約30名ほどの老若男女を問わず一同に会し、健康を守る会の会長である渡部吉一さんの開会宣言を皮切りに宝探しが始まりました。

「宝の地図」をよりどころに、スタートし、誰もが気軽に楽しめる、地区の意外と知らない地区の宝物を見つけることができました。「こんな所にあることすら知らなかった」と子どもの頃から住み慣れた地区の知らない場所と先祖の残した遺産があることを改めて知ることができ、和気あいあいと楽しく悠久の宝物を見つけていました。

宝探しウォーキングは、今回初めての試みでしたが、西方地区の知らない場所とそこに眠る古からの宝物（遺産）を改めて再認識する良い機会となりました。宝探しウォーキング終了後、ふるさとセンターでお茶会があり、和やかな雰囲気の中で盛会裏に終了しました。



「フレイルは みんなで歩けば 医者いらず」 「ふるさとの 知らない宝 ビックリポン」

## 【桧原】アメシロ駆除作業（6月22日）

阿部 和彦さん

桧原地区役員と隣組長 11 名によるアメシロ駆除作業が行われました。アメリカシロシトリは、柿や桜などの果樹・樹木に発生し、葉を食い荒らす害虫で早めの対応が必要とされています。

15日⑩は悪天候で1週間延びてしまいましたが、22日は天候に恵まれ実施できて幸いでした。

今年も町の機械をお借りし、薬剤の散布を行いました。

毎年、アメシロが発生しやすい梅雨時期に地区内の道路沿いを中心に散布し、大発生を防ぎます。作業活動は暑くなる前、9時から1時間半程で終了しました。おかげで今年も、深く濃い緑の季節を迎えることができます。



## 【桧原】花植え活動（6月23日）

阿部 和彦さん

ボランティア桧原では、女性会員7名を中心に花植え活動が行われました。

今年もマリーゴールド、ベコニア、日々草等 80 本と培養土 8 袋を用意していただき、【JR 会津桧原駅】6 鉢、【多目的集会所】5 鉢、【お地蔵様】4 鉢の合計 15 鉢を設置することができました。

平日、夕方の作業でしたが、会員の手慣れた手順と協力で、土入れから植栽、運搬まで約 30 分で終わることができました。

三島町では「日本で最も美しい村」連合に加盟していて、町の景観や文化を守り継承していく事業や活動に力を入れています。この花植え作業で地区の皆さんや JR 只見線の観光客に喜んでいただけたらボランティア桧原としてもうれしく、更に活動を続けていけると思います。



# 小堀庄太郎副町長 退任

6月30日、任期満了により、小堀庄太郎副町長が退任されました。

令和3年7月1日より4年間にわたり、町政を支え、役場職員をまとめ、町の様々な事業の執行に携わってこられました。

小堀氏は、任期を終え、一町民に戻られますが、今後とも、町行政を陰ながら見守り、時にご指導いただければと思います。



# 熱中症予防のために

気温の高い日が続いています。暑さの厳しい時間帯に山や畑で作業をしている方が多くみられます。熱中症の危険が高まる季節ですので、健康管理に十分に注意してください。



特に高齢の方は若年者よりも体内の水分量が少ないため、体に熱がたまりやすく、暑いときには心臓や腎臓、脳などへの負担が大きくなります。加齢により、気温や喉の渇きに対する感覚も鈍くなりますので、体調の変化に気を付けて、熱中症による健康被害を防ぎましょう。症状（めまいや立ちくらみ、生あくび、大量の汗など）が出た場合は周りの人に知らせ、必要時（頭痛、嘔吐などがみられた場合など）は早めに医療機関を受診してください。

## 図書のご案内

### 町民センターゆめぽけっと

- 利用時間
  - 月～金 午前9時～午後9時
  - 土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み 年末年始
- 公民館 ☎ (48) 5599

### ●今月のおすすめ

#### 一次元の挿し木

松下 龍之介 著



第23回『このミステリーがすごい!』大賞の文庫グランプリを受賞し、発売から1か月で8万部を突破するという驚異的な話題作です。200年前の人骨のDNAが4年前に失踪した妹のもの一致するという、常識を覆すような設定から始まるこのミステリーは、科学的な謎解きと深い人間ドラマを巧妙に融合させた傑作として、多くの読者と評論家から絶賛されています。

### ●図書の紹介



疲労とはなにか  
近藤 一博 著



やなせたかしの生涯  
梯 久美子 著



老いはヤケクソ  
佐藤 愛子 著



パズルと天気  
伊坂 幸太郎 著

## 地域おこし協力隊

### 活動誌

「皮膚で聴く」

茂田 龍揮

生活工芸のアカデミー生に同行して山ブドウの素材を採る機会を得た。小川を超え急な斜面を登っていくと、そこかしこに藤や山ぶどうが枝垂れている場所に着いた。広葉樹に囲まれたその場所は様々な鳥や虫、木々と水流がこだまする奥会津の森の只中だった。

人は耳だけでなく皮膚でも音を聴いている。耳で聞くことのできない高周波を含む音は、皮膚から浸透し脳の深部に働きかけて生理作用を活性化させる。ハイパーソニック・エフェクトと呼ばれるこの音の効果は、自然界の音に多く認められ、高周波が乏しい人工音では得られない。私が山ぶどうの森林で浴びた音は、豊かな生態系の賜物だ。この生態系こそが三島町の基層をなしている。

皮膚には光を感受する機能も

ある。太陽光でビタミンDが作られ、目に見えない紫外線が皮膚に届くと、深部でメラニン色素が生成される。人工的な光特に夜間の過剰な光は夜行性の生物の営みを阻害するばかりでなく、私たち人間の体内時計を乱す。そう考えると、目が見えない人も光害の影響を受けるのだろうか。月の光と星の煌めきは、いかに皮膚で受容されるのだろうか。このような、皮膚がもつ多様な機能の研究に注目が集まっている。

美坂の星空を保護するために町の光害対策に取り組んでいく。身体から出発し山を抜けて天空へと、意識の射程に限界はない。



## 伝統工芸ガチャプロジェクト ～ストラップの編み方を覚える～



▲ 製作のようす

6月17日、三島小の5・6年生が来館し、山ブドウやクルミのストラップの作り方講座を行いました。これは昨年度の子ども議会の中で提案された「三島町の良さをガチャにしてPRしよう」というアイデアを実現するため、5・6年生が中身や置き場所について話し合っています。ときには、町民の方へのインタビューを行い、町の良さやおすすめスポット、観光客がどこに多く訪れるかを調査し、検討してきたものです。

第一回の製作は、三島町の伝統工芸のPRをテーマとしてストラップ作りに取り組みました。花編みや石畳み編みなど様々な編み方を習得し、中身の製作に活かします。工芸館への滞在は2時間弱でしたが、「片付けの時間ですよ」と声をかけると、「もう終わりの時間か」という声もあり、非常に集中して取り組んでいる様子でした。これから中身の数を揃えたり、説明書きを用意したりするなど、まだまだやらなければいけないことは多いですが、一緒にがんばって行きましょう。



工芸館だより 50 〽ものづくりの伝承〽

●三島町生活工芸館 ☎(48) 5502



## 屋内でも油断禁物！熱中症対策のカギは湿度管理

三島町のみなさま、こんにちは。今回は、これから本格化する暑さに備えて「熱中症」についてお話しします。地球温暖化の対策には大きく分けて、その原因となる温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、実際に起こるさまざまな影響を軽減する「適応策」の2つの方法がありますが、熱中症対策は適応策になります。

先日、会津若松市で開催された高校の水泳大会で、10人の生徒が熱中症の疑いで搬送されたことがニュースになりました（読売新聞オンライン 2025年6月22日）。まだ6月という早い時期にもかかわらず、すでに熱中症のリスクが高まっている状況です。

昨年度8月号の環境研だよりでもご紹介したとおり、熱中症の危険度を判断する指標として「暑さ指数（WBGT）」が用いられます。WBGTは「気温」「湿度」「輻射熱（地面や建物などからの放射熱）」の3つから算出され、気温がそれほど高くなくても湿度や輻射熱の値が高い場合には熱中症になるリスクが大きくなります。屋内では特に湿度の影響が大きく、気温が低くても油断は禁物です。

実際、熱中症による救急搬送者のうち、3割～4割が「住居」で発生しているという統計もあります（出典：日本気象協会「熱中症ゼロへ」プロジェクト）。例えば、室温が30℃程度であっても湿度が70～80%だったために熱中症を発症した、という報告もあります。



▲ ※室内でも湿度が高いと熱中症のリスクが高まってしまう

それでは、屋内で私たちができる熱中症対策には、どのようなものがあるのでしょうか？

まずは、屋内だとしてもこまめな水分補給が基本です。加えて、エアコンや扇風機、サーキュレーターなどで風通しを良くし、「湿度を下げる」ことが非常に重要で、また疲労や寝不足による体力低下も熱中症のリスクにつながるため、普段から無理のない生活リズムを心がけましょう。温湿度計を設置して室内環境を「見える化」するのも有効です。室内の湿度が80%を超えている場合、たとえ気温が30℃以下でも熱中症リスクが高まります（出典：日本生気象学会「暑さ指数（WBGT）に基づく熱中症予防指針 Ver.3.1」）。

エアコンの使用に抵抗がある方や、電気代が気になるという方もいらっしゃるかと思います。最近では冷感タオルやネックリング、遮熱素材の衣類など、電源を使わない熱中症対策グッズも充実していますので、こうしたグッズを上手に活用しながら、涼しく過ごす工夫を取り入れてみてください。研究員の中村さんは昨年ネックリングを導入したそうで、「最初は冷たすぎてビックリしましたが、慣れると快適でよかったです」とのことでした。

2025年6月1日からは、労働環境における熱中症対策が義務化されました。これは、熱中症がもはや「自己責任」ではなく、社会全体で取り組むべき健康リスクとなっていることの表れです。今回ご紹介した対策をうまく取り入れながら、できるだけ安全かつ快適に過ごしていきましょう。

【参考文献】読売新聞オンライン 「屋外プールの男女10人が熱中症の症状で搬送…35・3度記録の会津若松市の高校水泳大会」

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20250622-OYT1T50091/>

日本気象協会「室内でも発生する熱中症」

<https://www.netsuzero.jp/learning/le10>

日本生気象学会「『暑さ指数（WBGT）に基づく熱中症予防指針 Ver.3.1』」

<https://seikishou.jp/cms/wp-content/files/yobousisin210603/20210604-114336.pdf>

厚生労働省「職場における熱中症対策の強化について（令和7年6月1日施行）」

[https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/news\\_topics/oshirase/0706nechushokyoka.html](https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/news_topics/oshirase/0706nechushokyoka.html)

筆者 常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

# 町史編さん室だより

第114回

## 「悲願の会津宮下駅までの鉄道延伸」

町史編さん室だよりでは、「悲願の鉄道延伸、その陳情運動」(令和元年9月号)、「悲願の檜原停車場設置」(令和6年11月号)といった表題で、鉄道が会津宮下駅まで延伸するまでの経緯について触れてきました。

昭和16年10月(1941)に鉄道省から刊行された『川口線会津柳津会津宮下間建設要覧』(以下、『建設要覧』)や、17年の『川口線列車時刻表』の名称にもあるように、実際に会津川口駅まで延伸したのは31年(1956)であるものの、「川口線」というのが当時の公称であったことは間違いないようです。

『建設要覧』には、川口線は10年(1935)に原谷村の第三工区、11年には会津宮下に至る西方村・西川村の第四工区に着手、13年には路盤工事を終了、次に橋梁の架設、軌道敷設、その他の営業用建造物築造の工事を施行、総工費3,113,943円の大事業で16年に竣功したと記されています。

同年10月28日、川口線が会津宮下駅まで開通、宮下と西方の両駅前には祝いのアーチがつくられ、盛大な開通式が行われました。

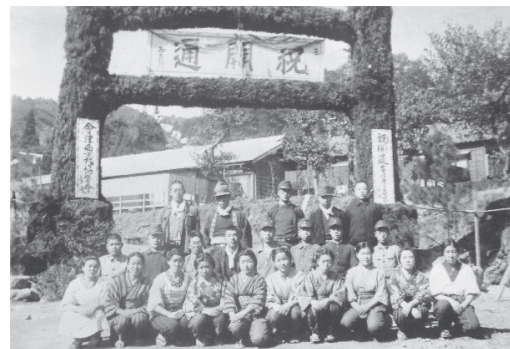
(町史編さん室)



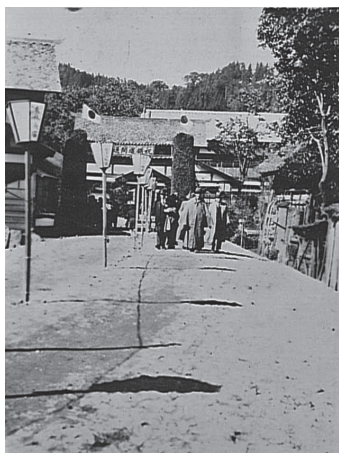
▲ 昭和14年～16年か 大谷川橋梁架設工事 (細堀貫一氏撮影)



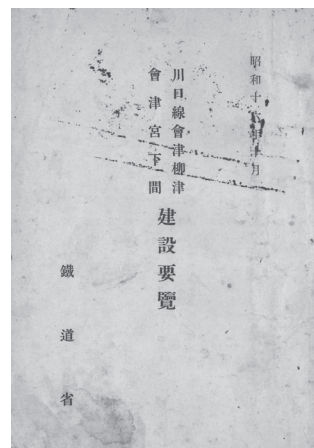
▲ 昭和16年5月 鉄道省宮下詰所、直雇人夫による線路引き延ばし (五十嵐貞子氏提供)



▲ 昭和16年10月会津西方駅開通祝 (小柴吉男氏提供)



▶ 昭和16年10月 会津宮下駅開通祝 (酒井佐一氏提供)



▶ 昭和16年10月 川口線会津柳津会津宮下間建設要覧

川口線列車時刻表

細字ハ午前 太字ハ午後

| 列車名  | 下    |       |       |      |      |      |      | 上    |      |       |       |      |      |      |       |
|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|
|      | 1客   | 3混    | 5混    | 7客   | 9混   | 11混  | 13混  | 4客   | 6混   | 8客    | 10混   | 12混  | 14混  | 16混  |       |
| 会津若松 | 5.50 | 7.43  | 10.20 | 0.23 | 2.10 | 4.15 | 6.35 | 会津宮下 | 6.50 | 9.25  | 11.15 | 1.25 | 3.30 | 5.50 | 8.10  |
| 会津柳津 | 7.30 | 9.22  | 11.55 | 2.03 | 4.10 | 5.50 | 8.15 | 会津西方 | 6.56 | 9.31  | 11.20 | 1.30 | 3.35 | 5.55 | 8.16  |
| 郷    | 7.40 | 9.33  | 0.05  | 2.14 | 4.21 | 6.01 | 8.23 | 会津檜原 | 7.03 | ↓     | ↓     | ↓    | 3.43 | ↓    | ↓     |
| 澁谷   | 7.49 | 9.46  | 0.14  | 2.23 | 4.30 | 6.10 | 8.36 | 澁谷   | 7.09 | 9.44  | 11.34 | 1.44 | 3.49 | 6.11 | 8.34  |
| 会津檜原 | 7.54 | ↓     | ↓     | ↓    | 4.36 | ↓    | ↓    | 郷    | 7.19 | 9.54  | 11.43 | 1.53 | 3.59 | 6.21 | 8.44  |
| 会津西方 | 8.00 | 9.58  | 0.27  | 2.35 | 4.42 | 6.22 | 8.48 | 会津柳津 | 7.35 | 10.10 | 11.58 | 2.10 | 4.13 | 6.35 | 8.58  |
| 会津宮下 | 8.05 | 10.03 | 0.32  | 2.40 | 4.47 | 6.27 | 8.53 | 会津若松 | 9.07 | 11.47 | 1.20  | 3.46 | 5.42 | 8.11 | 10.23 |

▶ 昭和17年 川口線列車時刻表

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

## 消防署からのお知らせ

## 熱中症に注意！！

7月1日～7月31日は熱中症予防強化月間です。

- ・受け答えや会話がおかしい
- ・体が熱い、けいれんする
- ・ふだん通り歩けない



急いで**救急車**を要請してください。

## 熱中症は予防が大事！



☎会津坂下消防署 三島出張所  
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

## バスの車内事故防止についてのお願い

ただいま、走行中のバス車内での事故を防止するため、「車内事故防止キャンペーン」を実施しております。

走行中に席を離れると、転倒など思わぬけがをする場合があります。

お降りの際は、バスが停留所に着いて扉が開いてから席をお立ち願います。

また、バスは安全運転に徹しておりますが、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。満席のため、お立ちになってご利用いただく場合には、吊革や握り棒にしっかりおつかまりください。

バスの車内事故防止に皆様のご理解とご協力をお願いします。



☎公益社団法人福島県バス協会 ☎024-546-1478

## 会津坂下警察署からのお知らせ

## 「SNS」に要注意！！

子どもたちが犯罪被害に遭わないために！

夏休みは子どもたちの交友関係が広がる傾向にあり、スマートフォン等から SNS を利用して、誘拐や性犯罪の被害に遭うケースが増加することが予想されます。

保護者の皆さんは、こどもの言葉遣いや生活態度などの変化に気を配り、インターネットの危険性などを具体的な事件の話を変えながら指導し、少年の非行防止、犯罪被害防止に努めましょう。

- ・ SNS 等に自分の個人情報や写真などを掲載しない。
- ・ SNS 等で知り合った人と会わない。
- ・ SNS 等に悪口を書き込まない。
- ・ スマートフォンを利用する際のルールを決める。
- ・ フィルタリング等を利用する。

## 闇バイトは犯罪です！！

## 闇バイトに注意するためのポイント

- ・ 怪しい求人に注意する：「高額」「即日現金」「副業」などの言葉に注意。
- ・ 募集先の信頼性を確認する：情報源をチェック。
- ・ 個人情報の提供に慎重になる：匿名性の高いアプリのインストールは注意。
- ・ 報酬の支払い方法を確認する：不審な支払い方法に注意。
- ・ 周囲に相談する：友人や家族、警察に相談。
- ・ 法的に対応する：犯罪に巻き込まれた場合は法的対応を。
- ・ SNS やネット上での情報に気をつける：怪しい求人情報に注意。

## 登山の注意事項！

## 自然に潜む危険

- ・ 一人では登らない  
万が一の負傷や滑落事故に備え、家族や友人と一緒に登ること。
- ・ 登山計画書の作成  
登山の開始時間・下山時間・コース・装備品・メンバー等をまとめた登山計画書を作成し、家族や職場に提出すること。
- ・ 野生動物への対策  
ホイッスルや熊鈴を装備して遭遇を未然に防ぐほか、遭遇してしまった場合には、静かにゆっくりその場を離れること。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

## 町からお知らせ

## 7月分納税のご案内

【納期限 7月31日(木)】

- ▼ 固定資産税（普通徴収）（第2期）
  - ▼ 国民健康保険税（第2期）
  - ▼ 介護保険料（普通徴収）（第2期）
- 忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎ (48) 5555

## ご寄附ありがとうございました（5月分）

## ふるさと納税

小池 梨江 様（東京都）  
竹本 敬子 様（東京都）  
寄附件数 28 件 計 273,000 円



## 末永くお幸せに

五十嵐 信一・秋（早戸）



## お悔み申し上げます

諏訪 義幸 様（74才・宮下）  
小林 タツノ 様（98才・桑原）

## 町の人口と世帯（6月1日現在）

|    |       |     |    |    |   |
|----|-------|-----|----|----|---|
| 人口 | 1,311 | 増減数 | -2 | 出生 | 0 |
| 男  | 663   |     | -2 | 死亡 | 2 |
| 女  | 648   |     | 0  | 転入 | 1 |
| 世帯 | 671   |     | 0  | 転出 | 1 |

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 社会福祉協議会より

## 大石田友遊サロン

7月7日(月)  
午前10時から  
大石田集会所

## 西方ほがらかサロン

7月7日(月)  
午前10時から  
森の校舎カタクリ

## 大登サロン

7月7日(月)  
社会見学

## サロンないり

7月7日(月)  
社会見学

高清水・小山  
いきいきサロン

7月7日(月)  
社会見学

## 間方いきいきクラブ

7月15日(火)  
社会見学

## 浅岐あったかサロン

7月15日(火)  
社会見学

## ひまわりサロン

7月18日(金)  
社会見学

## 川井友愛サロン

7月18日(金)  
社会見学

## 滝谷和楽塾

7月22日(火)  
午前10時から  
滝谷集会所

## 西方ほがらかサロン

7月24日(木)  
社会見学

## サロンなごみ

7月24日(木)  
社会見学

町社会福祉協議会へのご寄附  
(ご遺志によるもの)

諏訪 義徳 様（宮下）  
小林 辰伊 様（桑原）

## 愛ばんしょ外来からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から5年が経ちました。

現在、感染者は減少傾向にありますが、今後も少しずつ変異を繰り返しながらコロナウイルスはしぶとく生き残っていくと思われます。高齢者や基礎疾患を持つ方は感染すると重症化のリスクが高まります。引き続き「手洗い」、「マスクの着用」、「換気」など基本的な感染対策をお願いします。

また、残暑が厳しい毎日が続いています。こまめな水分摂取やエアコン、扇風機を使用しながら熱中症対策を継続していきましょう。



☎福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321



第14回三島町長賞  
「願いを込めて」佐藤 真吾



第14回交流センター山びこ賞  
「春爛漫・カタクリと桜の共演」古内 サダ子



美坂高原ミサカノヨソラフォトコンテスト最優秀賞  
「真夏の夜の美坂高原」丹治 美知夫



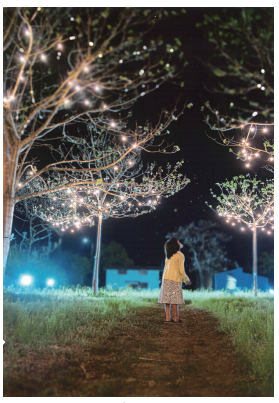
第14回三島町文化協会賞  
「団扇太鼓を叩く男」児山 昭一



第14回福島民報社賞  
「静寂な只見川を進む」宮本 弘文

今年から  
「ミサカノヨソラ賞」が  
追加されました！  
**第15回**  
**「撮」っておきの**  
**みしま町**  
**フォトコンテスト**  
Photo Contest

**募集期間**  
2025  
6.28(土) ▶▶ 10.26(日)  
**展示期間 (応募全作品展示)**  
2025  
12.6(土) ▶▶ 2026  
2.15(日)



第14回写真クラブ「写団道奥21」会長賞  
「ライトアップ」佐久間 優子



第14回福島民友新聞社賞  
「月あかりの街」布川 芽依

**撮影テーマ・応募規定**

三島町に関すること  
A4サイズで1人3点まで可

**応募先・展示会場**

三島町交流センター山びこ  
住所：〒969-7402  
福島県大沼郡三島町大  
字名入字諏訪ノ上418

**審査 / 結果発表**

2025年11月中旬～下旬  
(予定)  
※審査の結果は、入賞者に直接ご連絡するとともに、ホームページ等で公開いたします。

町長日記「未来に向けて考える真の豊かさとは」

No. 107

昭和45年頃から過疎化・高齢化社会への対応策が論じ初められ、その政策課題解決のために、町村振興計画、過疎計画、その他様々な農業や林業の振興計画が立案されました。国は町村の振興計画の見える化を現実にするために、過疎債や交付金や補助金を創設し、特に財政面から町村を支援してきました。確かに、人口減少社会や高齢化社会や過疎化社会に対して町村も国も非常に危機感を持っており、問題の脱却を図る取り組みのためにこれほど財源を投入したのに全体として何故人口が減少していくのか。よく考えていく必要があります。また、今年2月、会津地方が直面した大雪災害、ほか、各地で起こる異常気象災害を思うと、たしか哲学者の梅原猛さんが、21世紀の3つの危機という表現で以下のように言われていたことを思い出します。34年前に21世紀の人類の危機として「核戦争の危機」と「環境破壊の危機」そして「精神崩壊の危機」の3つを講演会でお話されたのを記憶しています。これらの危機は、現実なものとなつて我々の前に姿を現しております。ウクライナとロシア戦争ほか、各地で起こっている紛争による核戦争の危機。また文明の発展によって起きてくる現在の環境破壊の危機。そして最後の危機。新聞報道やテレビ報道等を見ると、毎日のように流れる事件等が年々凶悪で、特にお金にまつわるものが多く、年齢層も低くなっているように見受けられます。特に豊かさを追いかけて先進的国家に多く多発している精神崩壊的現状であると感ずります。豊かさを追い求める国、豊かになつた国とはなんぞやと再考して行く必要があるのでないかと考えます。ある哲学者は次の様に書いておられます。「若者の精神の崩壊ということが資本主義のもつとも発達した先進工業国に起こっているのです。」と。

三島町長 矢澤 源成